



「今月の祈り」

天地万物の救い主、主イエス・キリストの父なる神よ。このイースターの朝、あなたの御名を賛美いたします。あなたは私たちを罪から救うために、独り子を十字架の死へと渡し、甦らせてくださいました。

傲慢とうぬぼれに満ちた罪に歩む私たちは、主の復活によって、あなたの変わることのない永遠の愛の力に生かされていることを知りました。そして、それぞれの孤独と苦悩という暗やみの中から引き出され、主によって結ばれた者として光の下に置かれました。この世がどれほどに悲惨で不条理なものであっても、あなたは決して私たちを見捨て給わず、私たちの罪がどのように深くとも聖なるあなたの御前から滅ぼされないことを感謝いたします。

心と体に弱さを覚え、揺れ惑うことの多い私たちは、時にあなたとの関係を断ち切り、み言葉を忘れてしまいます。確かなものを求めているにもかかわらず、偽りの安定と虚構に身を委ねてしまいます。自由を求めながら、束縛と制限の中にあることに慣らされています。想像力を失い、信じることを見失った世にあって、

私たちもまた蝕まれています。頑なに自分の思いにしがみつき、他人の思いにも、あなたの御心にも気付こうとしません。何一つあなたに相応しい歩みの出来ないことを深く懺悔いたします。

なぜ、私たちの命が脅かされ、傷つけられ、不安に落とされるのかということに悩むことから解き放たれ、なぜ私たちに命が与えられ、今生かされ、さまざまに与えられているのかということに目を向けることが出来ますように。自分の思いにではなく、あなたの御心に聞く時を与えて下さい。うつろい行く力により頼むのではなく、永遠のあなたにより頼んで生きる道へと導いて下さい。

神さま、世界に平和をもたらしてください。暴力によってではなく、対話によって解決への道を模索し続ける姿勢を第一とすることが出来ますように。国の為政者たちをはじめ、この世に生きる私たちを導いてください。

この祈りを復活の主イエス・キリストの御名によって御前におささげいたします、アーメン。

日本キリスト教団
北千里教会

牧師 宮岡 真紀子

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台4丁目5-10

電話 (06) 6834-0978

郵便振替 00940-2-131583

口座名義 日本基督教団北千里教会

kitasenri.ch@gmail.com

<https://www.kitasenriyokai.info/>

教会員のページ

「子どもたちを取り巻く状況」

牧師 宮岡信行

皆さんはお店やスーパーなど日常生活の中で、中学生・高校生などの十代の子どもたちを見かけるでしょうか。大阪女学院という学校の中にと、屋内外に 1,900 名以上の生徒・学生の声が響き渡り、まさに圧倒的多数の子どもたちに囲まれている印象があります。

ところが、2023 年の人口推計では十代の人口が一年あたり 107 万人程度となり、全国の中学生が 321 万人、高校生は 321 万人になります。ちなみに 20 年以上前は一年あたり 190 万人で中学生 570 万人、高校生 570 万人でした。いまの日本の中高生はおよそ人口 200 名に一人の割合で、しかも小学生の 8 人に一人、中学生は 10 人に一人が東京生まれです。おそらく、今後は街中で中高生の姿を見かける回数は少しずつ減っていくのでしょうか。

学校以外の場所になるといつも少数派になる子どもたちは、異なる世代との交流に消極的になり、必然的に親しい家族以外の集団に進んで近寄ろうとはしないようです。つまり、学校という場では、教師たちが異なる世代の代表として子どもたちに接触する役割もあることとなります。しかし、知識や技術の伝達に加えて、社会性を身につける機会の公正さを保証し、人格的模範や人生のロールモデルまで提示するのは簡単なことではありません。学校では子どもも大人も悩み多いまま過ごしています。

「子どもたちが未来を信じ、辛い世の中も希望に満ちて(讚美歌 371)」生きるために、すでに先に生きる世代として私たちが何を残してきたのか。またこれから何を残せるのか。単なる先行事例から、模範となりロールモデルとなるような大人になりたいと努めています。どうぞ、お祈りください。